

私たち日本演出者協会の社会包摂部では、
2020年より「演劇で人と人、地域・社会と人を
つなげる」ことを目標に、『社会と知的障がい者施設を
演劇でつなぎ地域のプラットフォームをつくる事業』を
文化庁助成により始めています。昨年に引き続き、
全国のネットワーク作りのためのシンポジウムを企画
いたします。多くの演劇人に「障がいのある人たちと
つくる演劇」について知って欲しい、また演劇を取り入
れてみようと思われる施設の皆様の参考になれば
と願っております。
実行委員一同ご参加を心よりお待ちしております！

シンポジウム実行委員
柏木俊彦、菅田華絵、和田喜夫

オンラインシンポジウム
8月14日(日)10:00~12:00
*参加費無料 *手話通訳あり

【お問合せ・お申込】 申込期日 8/13(土)12:00まで
どなたでもご参加いただけますので、お気軽にご参加ください。
参加ご希望の方は、応募フォームかメールより期日までにお申し込みください。
オンライン会議ツール「Zoom」を使用します。
お申し込みいただいた方に、メールにて配信URLをお知らせします。

応募フォーム

<https://forms.gle/iwQzRg7Jkxaa3MDZ8>



メールにてお申し込みの場合は、以下の情報をメールアドレス
tunagaruengeki@gmail.com までお送りください。

- ①名前 ②フリガナ ③メールアドレス
④所属・役職 ⑤電話番号 ⑥備考(連絡事項)

パネリスト



庄崎隆志 (しょうぎきたかし)

演出家、劇作家、舞台俳優。office 風の器 主宰。東京都出身・淡路島在住。19歳で演出家松山善三氏の舞台『赤い椿の物語』に出演し、舞台俳優を志す。デフパペットシアターひとみ代表を務め、退団後は、コトバや性別、年齢、国境を越えて楽しめることをモットーに、演劇、日本舞踊、コンテンポラリーダンスなど、様々な手法を用いて、視覚的コミュニケーションを追求した舞台を創出。『Rasyomon』『UKIYOIE』など多くの演出を手掛け、全国各地780箇所、海外では、欧米、アジアの14カ国で公演している。福祉機関、教育機関、企業などでノンバーバル演劇ワークショップ活動を継続。平成22年度横浜文化賞・文化芸術奨励賞受賞。AWAJIユニバーサル演劇ネットワーク代表。第1~9回全国高校生手話パフォーマンス甲子園審査委員長。第1~2回こうべ手話フェスティバル審査委員長。

《特別手話パフォーマンス(10分)》ろう者の特有である【VV】(ビジュアル・ヴァーナキュラー)を披露します。タイトル『海のオーケストラ』等



飯田浩志 (いいたひろし)

一般社団法人グランツ代表理事、横浜桜座主宰。桐朋学園短期大学部芸術科演劇専攻卒。卒業後、舞台ではプロデュース・演出・出演。また、NHKなど多数のTV番組では、出演・ナレーションなどで活動する。2013年、障がいがあってもなくても表現することで輝く為という目的で演劇集団 横浜桜座を結成。横浜桜座の本公演のほか、2017年より、プロの俳優と共に障がいのある俳優も舞台に出演する「横浜桜座プロデュース公演」も行う。2022年10月には、第4回横浜桜座プロデュース公演『なくなるカタチとなくなるキモチ』を予定(東京・横浜・大阪3都市にて。主演:南野陽子)

ゲスト・パネリスト 佐藤拓道 (さとうひろみち / 奈良県・たんぼの家アートセンター HANA)

楽しくつながるプロジェクト2022 『奥多摩の昔話』

2022年11月6日(日) 会場:奥多摩町内の施設

2020年より、知的障がい者施設「東京多摩学園」の利用者さんたちとお芝居をつくってきました。今回は、活動を少しひろげて、学園のみなさんと奥多摩近隣の方々がいっしょになって、民話集「おくたまの昔話」をもとにしたお芝居をつくります。



詳細は、今後、
日本演出者協会HP
(<https://www.jda.jp/>)
に掲載いたします。